



就任のご挨拶

～つながり、出会い～



学長 石原 敬子

前学長 小野礼子先生の後任として、2021年4月に学長の職を拝命いたしました。

本学はマリアの宣教者フランシスコ修道会を設立母体とする大学ですが、120数年前(1898年)、5名の修道女たちが九州に派遣された時が日本との最初のつながり、そして出会いでした。時代の変化とともにミッションを変え、戦後の混乱期には日本の女子教育を重要な使命として、「真理と愛に生きる」をモットーに掲げ、1951年に学校法人海星女子学院小・中・高等学校を設立しました。(1955年に短期大学、1965年に大学設置)

私の海星とのつながりは、実はこの時から始まっています。私事となりますが、私の母が設立当時の小学校に通い始めているのです。母は大学・短期大学の同窓生ではありませんが、別の短期大学卒業後に教員として本学法人のマリア幼稚園にお世話になりました。そして私は海星病院で生まれ、病院の聖堂で洗礼を受け、時が流れ…文学部英文学科第24回生として卒業し、その後も海星を軸に様々なつながりと出会いを経験して今があります。

横のつながりがあり、過去と未来への広がりがあり、小さく思える一つのつながりが、長い年月をかけてどのように広がっていくかはわからないものだと不思議な力を感じます。

皆さまも、人・学び・場所など様々なきっかけを介して、ある時何らかの形で海星とつながり、それを出会いに変える選択をしてこられたわけですが、海星の歴史を紡いできてくださった同窓生の皆さまと私も確かにつながっている、と実感しております。

このつながりに感謝し、またそのつながりからたくさん新しい出会いがあることを期待しながら、海星とのつながりを出会いに変えてきた一人ひとりの学生と真摯に向き合い、それぞれの学生のつながりを広げ深める助けになりたいと思っております。同窓生の皆さまに支えていただきながら、微力ではございますが本学及び同窓会の発展のために全力を尽くしてまいります。ご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。



P5 特別講演
P9 活躍する卒業生

P6 海外だより
P11 **緊急!**「海星青谷会基金」へご協力をお願い